

現地見学会の開催状況（砂付け試験）

1. 現地見学会

日時：平成21年6月24日（水）11:00～12:00

場所：市川市塩浜2丁目工事現場

天候：雨のち曇り

参加者：20名（委員8名、一般2名、関係者9名、事務局1名）

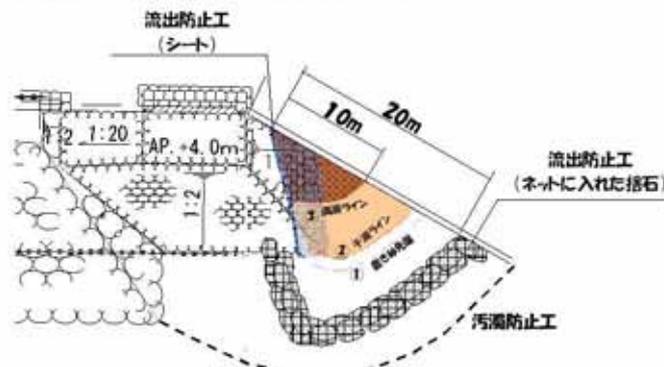
配布資料：砂付け試験の概要資料



砂付け試験工事の説明状況

1

2. 砂付け試験の計画平面、断面イメージ図

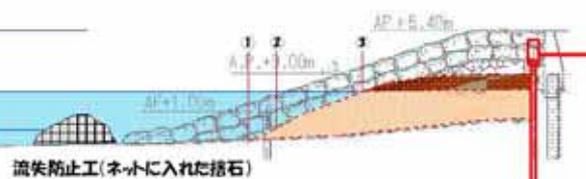


平面イメージ図

▽ 計画高潮位: A.P. +5.4m

▽ 期望平均高潮位: A.P. +2.1m

▽ 期望平均干潮位: A.P. ±0.0m



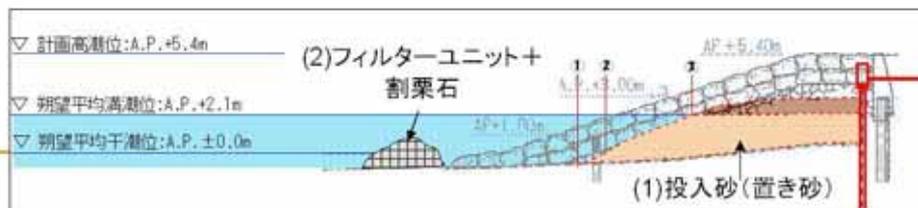
断面イメージ図

2

3. 砂付け試験の材料

3-1. 材料・規格・数量一覧

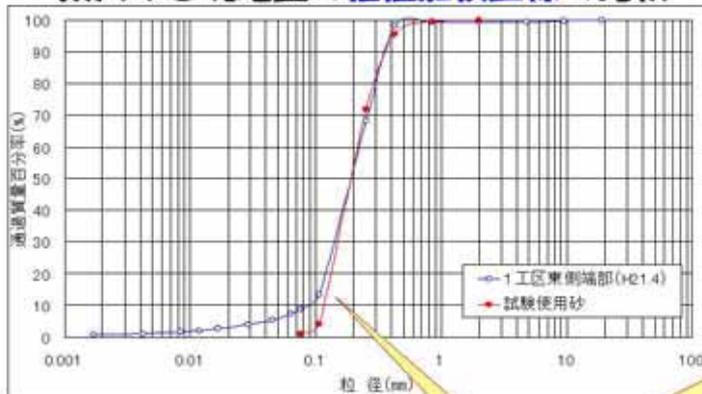
項目	使用材料	規格	数量
(1)投入砂(置き砂)	洗い砂(山砂)	君津市産2mmアンダー砂	100m ³
(2)流出防止工	基礎シート工	ポリエステル系織布 厚さt=0.32	54m ²
	フィルターユニット・ エコグリーン	重さ: 1t用、大きさ: 2.3m×1.8m、 網目: 25mm目、網素材: 再生ポ リエステル	91袋
	中詰め割栗石	栃木県栃木市産 50-150mm	91t



3

3-2. 投入砂の粒度について

投入砂と現地盤の粒径加積曲線の比較

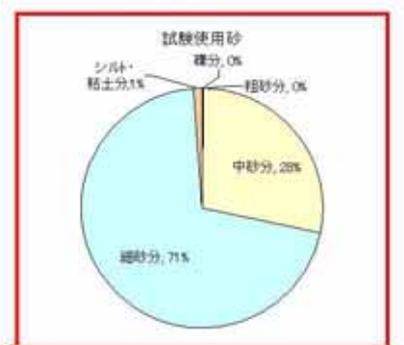


現地盤の粒度分析対象地点 (1 工区東側端部)



投入砂(試験使用砂)は、現地盤の底質粒度と粒径加積曲線が類似しており、粒度組成はどちらも細砂・中砂が主体で、シルト・粘土分が10%以下である。

投入砂と現地盤の 粒度組成の比較



4

4 . 砂付け試験場の施工

4 - 1 . 置き砂投入前の状況



5

4 - 2 . 置き砂投入状況 (見学会当日)

置き砂の投入準備



置き砂の投入



6

4 - 3 . 置き砂投入後の状況 (砂付け試験場の完成)



撮影時刻の潮位
A.P.+0.3m程度 (気象庁・東京晴海の実測潮位)

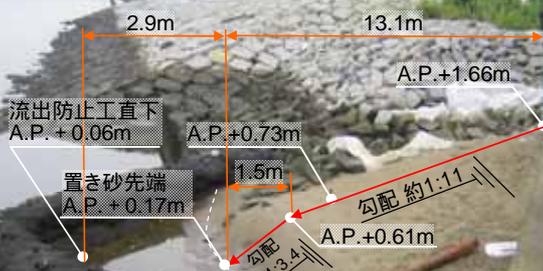


5 . 施工 2 週間 ~ 1 ヶ月後の状況

約2週間後・H21年7月10日撮影



撮影時刻の潮位
A.P.+0.9m程度 (気象庁・東京晴海の実測潮位)



約1ヵ月後 H21年7月22日撮影

撮影時刻の潮位
A.P.+0.04m程度 (気象庁・東京晴海の予測潮位)



6. 砂付け試験の今後のモニタリング計画

区分	項目	目的	方法	時期	数量等
検証項目	砂付け試験	<ul style="list-style-type: none"> ■砂を投入した場合の砂の挙動を把握する。 ■置き砂に現れる生物相を確認する。 	地形測量	年2回 + イベント (台風等の高波後) 施工直後も実施	■置き砂投入範囲の中で1測線
			生物観察	夏季: 8月下旬 ~ 9月 春季: 4月 の年2回	<ul style="list-style-type: none"> ■方形枠(50cm × 50cm)による目視観察 ■潮間帯を1測線(高・中・低潮帯)で観察、低潮帯においては測線の両脇も観察 ■測線上の低潮帯の1箇所採取分析
			採泥・粒度試験	秋季: 9月 春季: 4月 の年2回	■後浜部、汀線部、のり先付近を基本として、勾配が変化することに1箇所
			形状把握	年2回 + イベント (台風等の高波後)	■定点撮影
検証材料	青潮時の溶存酸素	■生物環境への外力把握	DO計による測定	青潮発生時	<ul style="list-style-type: none"> ■1工区の完成断面石積のり先 ■護岸改修範囲の西側で1点

